

SNSでのトラブル

インターネットやSNSの普及によって私たちの生活は便利になりました。
一方で、インターネットやSNSが原因となるトラブルによる被害も拡大しています。
今回はトラブルの事例について知り、原因や対処法を学び、自分はもちろん、周りの友人や大切な人が被害にあわないようにしていきましょう。



例えばこんなことが…

①何気ない写真から…

ある日…

Aさんは、Bさんと一緒に自分の部屋で遊んでいました。

Bさんは、Aさんと遊んだ様子の写真を、自分のSNSにアップロードしました。

数日後…

Bさんは、自分のSNSに誰かがログインを試みた形跡があることに気がしました。

また、知らない人が、帰宅時間になると家の周りをうろろろしていることにも気づいたため、両親と警察へ相談に行きました。

警察に相談すると…

不審な人物が特定されました。
この人物は、BさんのSNSを見てAさんに興味をもち、AさんのSNSの内容やBさんが投稿した写真から、氏名や住所等を特定していました。また、Bさんの写真には、AさんのSNSのログイン用のパスワードが書かれていたメモ用紙が写っていたことも分かりました。



注意すること

- ・おやみに写真をSNSなどに投稿しない。
- ・写真を投稿する場合は、一緒に写った人に許可を取るなど必ず確認を。
- ・IDやパスワードは目につくところに保管しない。パスワードには、誕生日等の自分に関連する数字、推測されやすい言葉などは設定しない。

「おかしいな」と思ったら…

- ・不正なアクセスやログインがあった場合は、すぐにIDやパスワードを変更すること。
- ・不審な人物を見かけた、SNS等に身に覚えのないアクセスがあった等、普段と違う様子に気付いたら、すぐに周りの大人に相談し警察へ。

②SNSで意気投合して…

同じ趣味で意気投合して…

Cさんは、同じアイドルを応援する人が集まるSNSのオープンチャットを利用していました。

そこで仲良くなったDさんと、ダイレクトメッセージでのやりとりをするようになりました。

ある日、Dさんから、実際に会って遊ぼうと誘われました。Cさんは、DさんがSNSのプロフィールから自分と同じ学生であることを知り、話も合うことから、実際に会って遊ぶ約束をしました。



待ち合わせ当日に…

待ち合わせ場所に現れたのは、プロフィールにあった人物とは全く違う、大人の男の人でした。

「簡単なアルバイトがあるからやらないか」と言われ、人通りの少ない場所に連れていかれそうになりましたが、周りにいた人々に大声で助けを求めると、相手は逃げていきました。



注意すること

- ・年齢や性別、写真などの相手が語るネットでのプロフィール情報を簡単に信用しない。
- ・「あなたと話が合う」は信頼の証拠にならないことも。相手が「あなたに合わせている」可能性も忘れない。
- ・直接会うことを要求したり、金品や写真などを欲しがったりする相手とは距離を置く。

「おかしいな」と思ったら…

- ・誘われたからと言ってすぐに会わず、周りの大人などに相談をすること。
- ・SNSなどでしつこく誘われたり、何かを要求されたらそれまでのやりとりをスクリーンショット等で保存し、警察等に相談をすること。

SNSは現実の世界ではできないことが簡単にできてしまいます。
名前を伏せているから安心だ、何かあった時は投稿を消せばいいなどと思わず、
もしかしたら被害にあうかもしれないという考えをもって行動しましょう。

過去の啓発資料については、URL、二次元コードからご覧いただけます。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/393698.html>

岐阜県教育委員会 学校安全課／こども・女性部 私学振興課

Zeal Communications inc. All Rights Reserved.

